

理事長再任ご挨拶

2026.5.18

このたび、創立 80 周年という大きな節目の年にあたり、理事各位のご推挙により、引き続き理事長という重責をお任せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

再任、そして三期目を迎えるにあたり、その責任の重さを改めて認識するとともに、皆様から寄せられたご信任に深く御礼申し上げます。

建設労務安全研究会は、1946 年の発足以来、建設業界における労務および安全衛生の向上を目的に、時代の要請に応じた活動を積み重ねてまいりました。本年、創立 80 周年を迎えることができましたのも、先人の皆様の不断のご努力と、会員各社ならびに関係団体の皆様の長年にわたるご支援の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

現在、建設業界を取り巻く環境は大きく変化しております。高年齢労働者の増加や外国人労働者の就業拡大など、働く人の構成が多様化する中で、安全管理の在り方も新たな対応が求められています。特に、言語や文化、経験の違いを踏まえた外国人労働者への安全教育の充実や、確実な意思疎通を図るための現場体制の整備は、極めて重要な課題であります。

また、高年齢労働者の労働災害防止に向けては、身体機能の変化を考慮した作業内容や作業環境の改善が不可欠であり、転倒や墜落などの行動災害への対策は、安全衛生活動の重要な柱となっています。加えて、近年の気候変動の影響による猛暑の常態化を踏まえ、熱中症対策についても、命を守る観点から、より一層実効性の高い取り組みが求められています。

当研究会は、安全衛生理念に掲げる「働く者一人ひとりの安全の確保と健康の増進」「快適な職場環境の確立」を基本に、現場の実情に即した調査研究、情報共有、啓発活動を通じて、建設業界全体の安全衛生水準の向上に引き続き取り組んでまいります。

創立 80 年の歴史の中で培われてきた知見と経験を礎に、先人から受け継いだ襷を次の世代へと確実につなぐことが、三期目を担う私に課せられた使命であると考えております。

今後も、会員各社および関係団体の皆様のお力添えをいただきながら、行政・発注者との連携を一層深め、当研究会のさらなる発展と、建設業界における「安全・安心して働ける」環境づくりに向け、役員・事務局一丸となって全力で取り組んでまいります。

結びに、皆様の変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げ、創立 80 周年の節目にあたり、理事長再任のご挨拶とさせていただきます。